



令和3年5月27日 13時00分
資料配布 近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所

第20回 足羽川ダム建設事業推進協議会の結果概要について

足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため、協議会を開催しました。協議会の結果概要は、別紙のとおりです。

<取扱い>

<配布場所>

福井県政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	副所長	いとう 伊藤	まさし 昌資	TEL(0776)27-0642(代表)
福井県 土木部 河川課	参事	かわさき 河崎	てるよし 輝義	TEL(0776)20-0483
池田町 ダム対策室	室長	やまざき 山崎	まさみ 政弥	TEL(0778)44-8005

第 20 回 足羽川ダム建設事業推進協議会 結果概要

日 時：令和 3 年 5 月 27 日（木）10:00～11:00

場 所：近畿地方整備局 福井河川国道事務所 第 2、第 3 会議室

出席者： 近畿地方整備局 河川部長 豊口 佳之（WEB 参加）
福井県 土木部長 西出 俊亮
池田町 副町長 溝口 淳

【目的】

『足羽川ダム建設事業推進協議会』は、足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため平成 18 年 10 月 10 日の基本協定の締結をもって設置されたものである。

本日の第 20 回協議会は、足羽川ダム建設事業および地域振興策の進捗状況の確認と今後の進め方を議題として開催したものである。

【協議会概要】

○ダム建設事業および水源地域対策について、前回協議会（R2.6.3）からの進捗状況について三者で確認した。

【確認事項】

〈足羽川ダム建設事業の進捗について〉

- 足羽川ダム建設事業の進捗および今後の工程について国より報告。

引き続きダム本体建設工事や水海川導水トンネル工事、原石山掘削工事及び付替道路工事等の進捗を図っていく。

水海川導水トンネル工事については、依然として地山（岩質）の状態が想定以上に悪く、掘削の進捗に遅れが生じているが、新たに水海川分水施設関連（河床掘削）工事に着手することで、令和 8 年度の完成に向けて着実に事業を進めていく。

- 今後も現場管理と事業費監理に取り組むと共に、コスト縮減の取り組みにも努め、福井県と池田町との状況の共有を図っていく。

〈足羽川ダム建設事業に係る地域振興策の進捗について〉

- 地域振興策の取り組み状況について県および町より報告され、着実な事業の進捗に向け三者が協力していくことを確認した。

足羽川ダム建設事業推進協議会

<第20回会議>

令和3年5月27日（木）

10時00分～11時00分

福井河川国道事務所

第2、第3会議室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

(1) 足羽川ダム建設事業の進捗について（資料1、2）

・・・・・・・・国交省説明

(2) 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について（資料3）

・・・・・・・・県・町説明

(3) その他

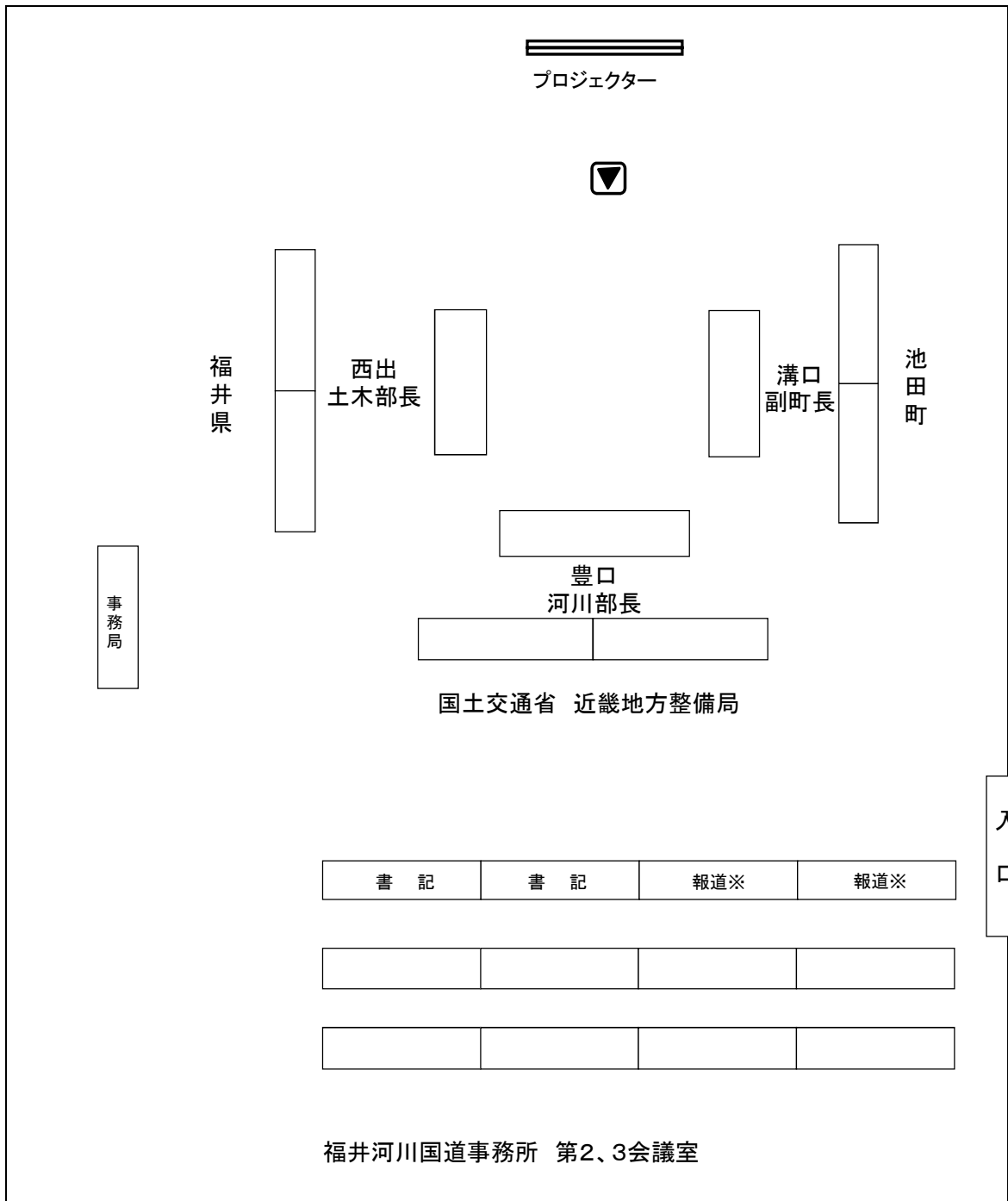
4. 閉 会

資料一覧

資料1、2 足羽川ダム建設事業の進捗状況

資料3 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について

第20回 足羽川ダム建設事業推進協議会(配席図)



※報道機関は、頭取まで

足羽川ダム建設事業の進捗状況

1. 事業計画

① 工事計画関係

- ・令和3年度予算：約114.7億円。
- ・ダム本体建設工事に着手（令和2年11月）。
- ・ダム本体、付替道路、水海川導水トンネル及び原石山掘削他工事等の工事を引き続き実施。新たに水海川分水施設関連工事（河床掘削）に着手。

② 環境アセスメント

- ・『足羽川ダム環境モニタリング委員会』により、環境モニタリング計画を審議。
（第1回：平成26年3月14日、第2回：平成27年2月25日、第3回：平成28年3月9日、
第4回：平成29年3月8日、第5回：平成30年3月15日、第6回：平成31年3月14日、
第7回：令和2年3月19日、第8回：令和3年3月18日）
- ・今年度も引き続き、環境調査（モニタリング調査）を継続実施する。

2. 生活再建対策

① 用地補償関係

- ・平成25年8月下旬より、土地、物件調書の確認が終了した地権者に対し、補償金額を提示し、契約締結を開始。
- ・令和3年3月末現在で、家屋の移転を伴う68戸全ての移転を完了。事業用地買収は全体面積の約99%の進捗。
- ・今年度も引き続き、未買収地等の補償交渉を実施する。
- ・事業認定の告示、手続保留の告示（令和3年3月16日）

② 代替地関係

- ・池田町内の集団移転地については、平成26年11月に2戸全ての移転契約を完了。
（平成27年12月に完成）
- ・福井市内の集団移転地については、平成28年7月に6戸全ての移転契約を完了。
（平成30年12月に完成）

③ 公共補償について、平成30年3月に池田町と全ての契約を完了。

3. 地域振興策

- ・第12回足羽川ダム建設推進協議会（平成26年10月17日開催）にて、池田町の地域振興策について、国、福井県、池田町で協定締結。
- ・平成27年3月11日、水源地域整備計画が決定。
- ・現在地域振興策が各事業主体により実施中。

4. その他

① 不当要求行為関係

- ・事業の円滑な推進や関係者の安全の確保を図るため、福井県警察本部などの関係機関と連携し「足羽川ダム建設事業に関する不当要求行為等対策連絡会」を開催。
（第1回：平成26年4月22日、第2回：平成27年5月22日、第3回：平成28年5月24日、
第4回：平成29年5月25日、第5回：平成30年6月1日、第6回：令和元年5月24日、
第7回：令和2年8月5日）

② 工事現場の安全・衛生・環境保全について

- ・事業区域内で大小様々な規模の工事を重複して進捗している中、工事現場の安全・衛生・環境保全に関する委員会を設立（第1回：平成30年8月22日、第2回：平成30年11月1日、
第3回：令和元年10月25日、第4回：令和2年11月6日）。

③ 広報関係

- ・インフラツーリズムの推進

第20回

足羽川ダム建設推進協議会資料

(足羽川ダム建設事業の進捗状況)

令和3年5月27日

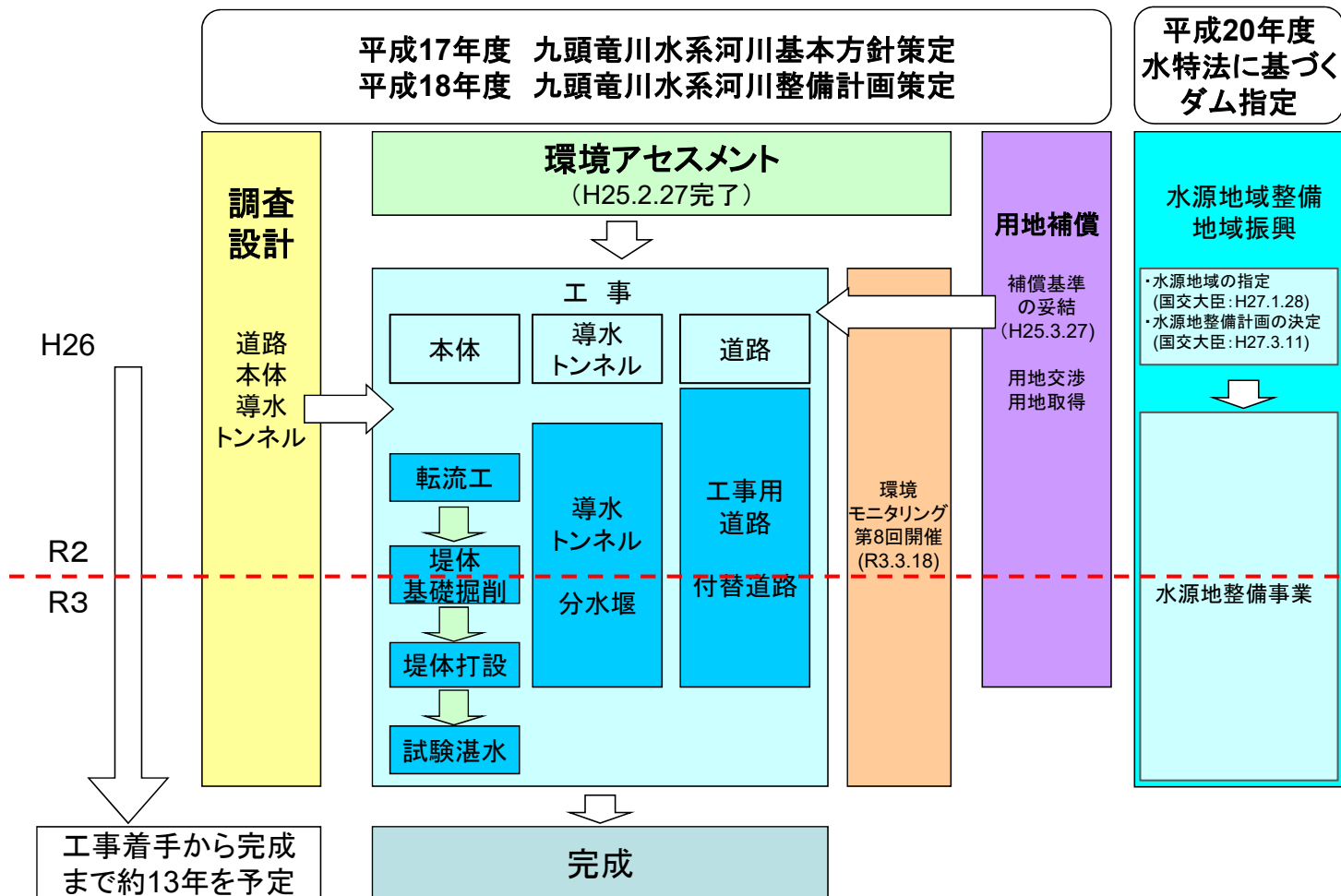
足羽川ダム工事事務所



※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にともなう工事等の一時中止による
(コスト、工期への)影響は考慮していない。

事業の進捗状況について

(足羽川ダム工事事務所)



事業完了までに要する必要な工期 (案)

:クリティカル

種 別		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
ダム 堤 体 の 工 事	仮排水路トンネル(転流工)													
	ダム本体掘削(堤体基礎掘削工)													
	堤体打設													
	管理設備工・放流設備工													
工事用道路(工事用道路の設置の工事)														
導水トンネル(導水施設(分水堰含む)の工事(部子川~水海川))														
建設発生土の処理														
付替道路(道路の付替工事)														

事業の進捗状況について

- 令和3年度は、引き続き事業に必要な用地取得及び付替県道、付替町道、導水トンネル工事、ダム本体(堤体基礎掘削含む)工事を実施するとともに、新たに分水施設関連(河床掘削)工事に着手。
- 令和2年度までに用地取得の約99%を取得済み。平成30年度に家屋移転は全て完了。
令和3年3月に事業認定の告示。

(令和3年4月末時点)

用地取得	約99%			
家屋移転	100%			
付替県道		22.0%		
付替町道		14.2%		
ダム本体及び関連工事	転流工 (100.0%)	基礎掘削	コンクリート打設	試験湛水
導水施設	導水トンネル (61.2%)	分水施設		

※進捗率は、掘削によるもの

凡例 - - 用地取得 - - 付替工事 - - 本体関連 - - 導水施設



令和3年度は、約115億円をもって、以下の内容を実施します。

■ 用地及び補償費 約 27億

- ・ダム建設に必要な土地等の取得、物件補償を継続して実施します。
- ・補償工事として付替道路工事を継続して実施します。

■ 工事費 約 71億

- ・ダム本体(堤体基礎掘削)及び原石山の掘削工事を継続して実施します。
- ・水海川導水トンネル工事を継続して実施します。
- ・新たに水海川分水施設関連(河床掘削)工事に着手します。

■ 測量設計費等 約 17億

- ・ダム関連施設(機械設備含む)および付替道路の設計及び必要となる調査を継続して実施します。
- ・水位・流量観測、雨量観測、河川の水質観測や気象観測、環境モニタリング調査を継続して実施します。

4

工事状況



ダム本体関連



ダム本体(下流から上流を望む)



(骨材製造設備ヤード)

付替県道

導水トンネル



付替県道7号橋(R2.12完成)



付替県道11号橋



水海川導水トンネル

5

■2期工事区間の地質状況と対応

○ 地質状況

本区間には、主に安山岩質溶岩が出現している。溶岩中には、強変質を受けて粘土化した自破碎状溶岩が不規則に含まれる。

粘土化した劣化部を含む区間では、大きな地圧が作用する大土被り区間であることも相まって、掘削直後からトンネルの左側側壁で変位が増大する傾向が見られた。

○ 標準支保パターン適用地山(B~DⅡ)

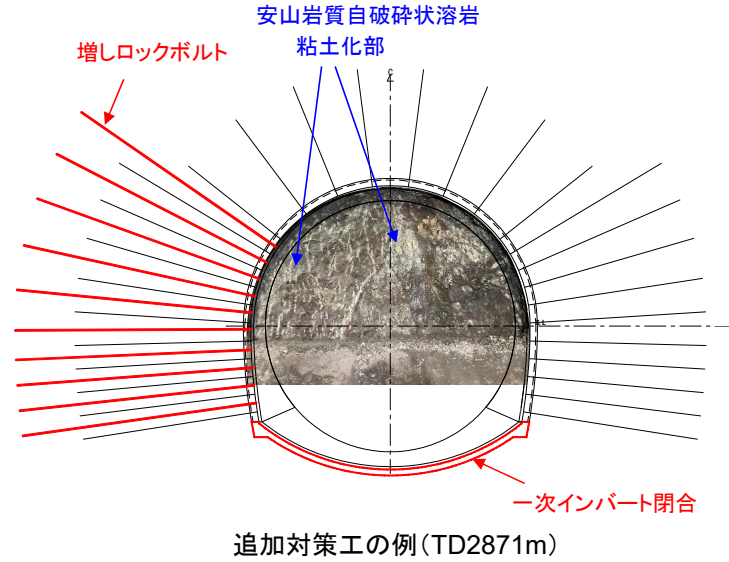
トンネル地山等級判定マニュアルに従った対策フローを立案し、これに基づく対策を実施した。

<支保パターンのランクアップ>

- ・吹付けコンクリートの増厚
- ・鋼製支保工の増強
- ・ロックボルトの本数増および延長
- ・一次インバート閉合

<既掘削区間への追加対策>

- ・増しロックボルト
- ・一次インバート閉合
- ・ランクアップした支保パターンでの縫い返し



温見断層把握のための事前調査について

【温見断層部の施工方針】

事前に超長尺ボーリング(概略調査)を行い、断層の位置、規模を特定した上で、必要に応じて追加調査を実施し、対策方針を設定した後にトンネル掘削を実施する。

【超長尺ボーリングの目的】

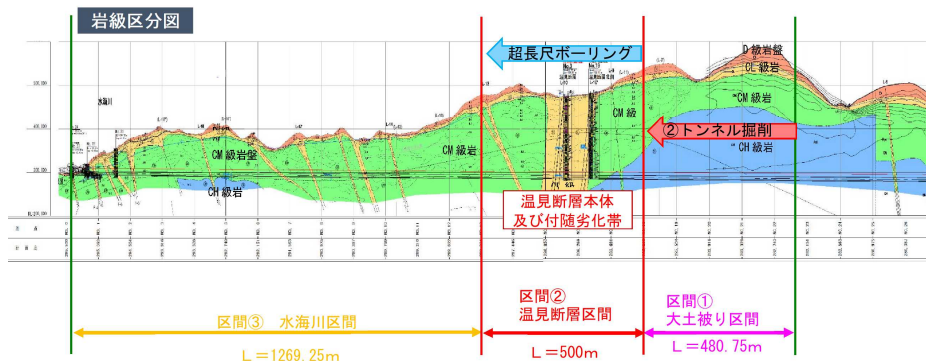
①突発湧水対策

地下水解析において、粘土層の存在により温見断層への到達、突破に際して最大11.1m³/minの突発湧水量が推定されている。無対策で、断層に到達した場合、大量の湧水による切羽崩壊など施工の安全面が懸念される。

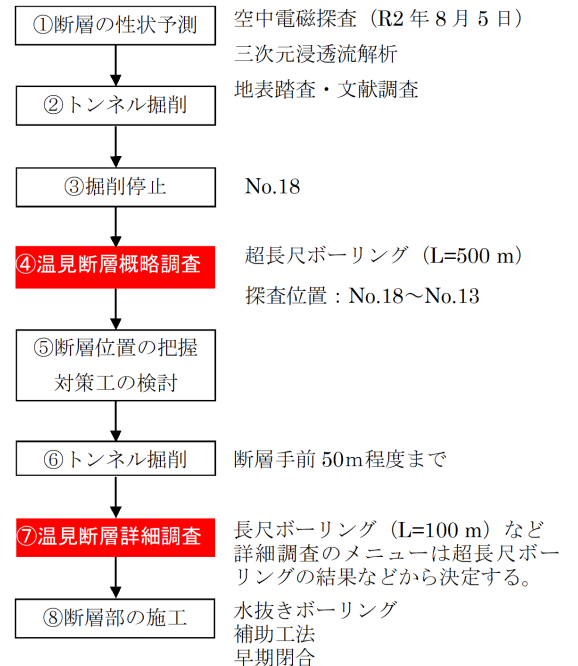
湧水が発生した場合には、トンネル掘削可能となるまで、地下水位を下げるのに長い時間を要し工程遅延のリスクがあるため、湧水情報の事前把握が必要となる。

②事前の対策立案による工程管理、経済性の確保

水圧250mの被圧水が存在する大規模活断層である温見断層の性状を掘削前に把握し、適切な対策工を立案する。

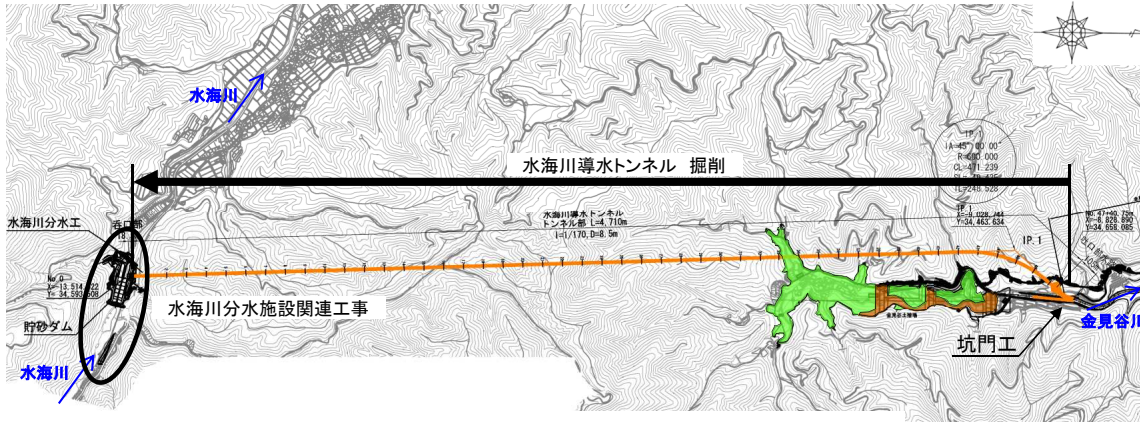


温見断層部の施工概要



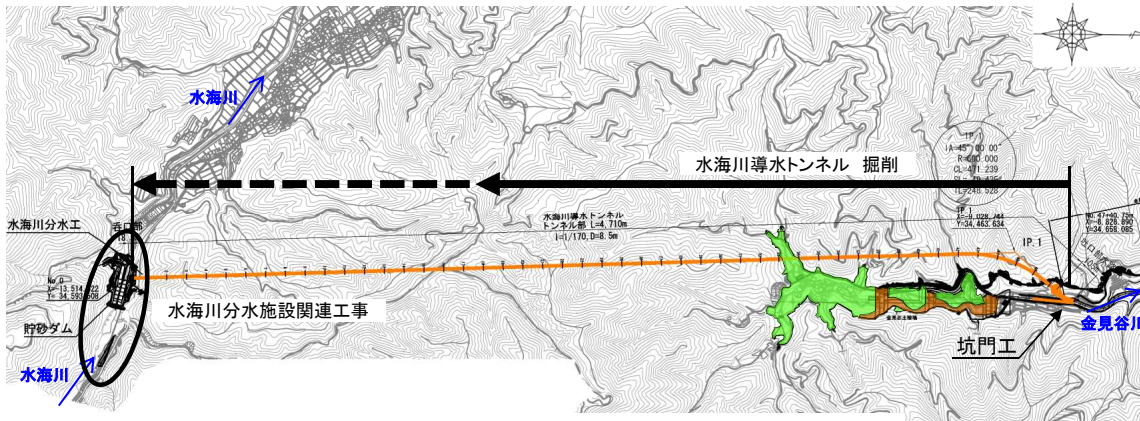
温見断層部のトンネル掘削フロー

■施工の流れ(イメージ)



(計画)

水海川導水トンネルの掘削完了後に、水海川分水施設関連工事に着手。



(対応)

水海川導水トンネルの掘削推進と共に、水海川分水施設関連工事に着手。

10

水海川分水施設関連工事について

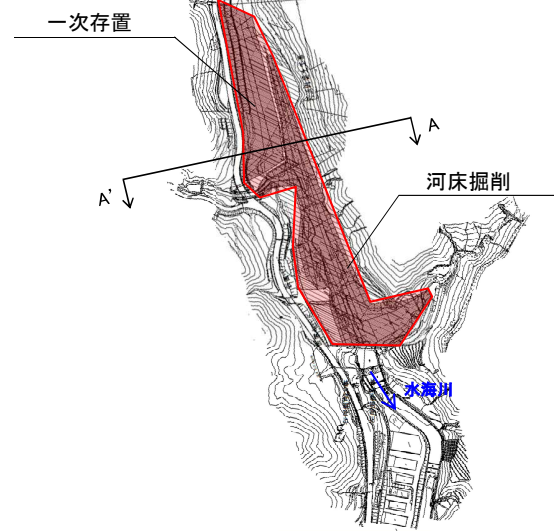
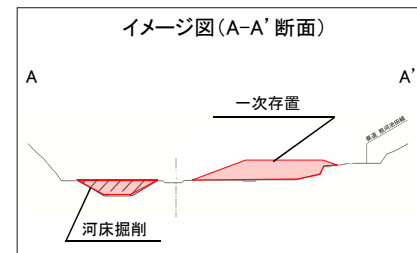
■工事内容

令和3年度より、今後の水海川分水施設の施工に向け、水海川の河床掘削等に着手予定。

■工期

令和3年夏頃 ～ 令和4年3月10日

イメージ(上流を望む)



11



『第8回 足羽川ダム環境モニタリング委員会』の開催 (R3. 3. 18)

【モニタリング委員会概要】

日時: 令和3年3月18日

目的: 足羽川ダム工事の現地着手するにあたり、評価書を踏まえ実施する環境調査や環境保全措置等の内容について、環境面から専門家の意見を伺うことを目的に開催

委員会メンバー:

委員長: 福原輝幸 (広島工業大学)

工学部環境土木工学科 教授: 水環境

委員: 奥村充司 (福井工業高等専門学校)

環境都市工学科准教授: 水環境

: 久保上宗次郎 (猛禽類研究家: 鳥類・生態系)

: 中村幸世 (福井市自然史博物館 学芸員: 植物)

: 松田隆喜 (福井農林高等学校 教諭: 魚類)

(50音順・敬称略)

委員会結果: 令和2年のモニタリング結果及び保全措置について確認
令和3年のモニタリング計画について了承



委員長挨拶



委員会開催状況

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対策のため、マスク着用にて開催

工事現場の安全・衛生・環境保全について



■ 足羽川ダム工事に関する安全・衛生・環境保全委員会

事業区域内で大小様々な規模の工事が重複して進捗している中、工事現場の安全・衛生・環境保全に関する委員会を設立。

第4回委員会概要

- 日時 令和2年11月6日(金)
- 場所 足羽川ダム建設工事現場
- 構成 事業主体 足羽川ダム工事事務所
外部委員 福井県、福井県越前警察署
武生労働基準監督署
オブザーバー 福井市、池田町

足羽川ダム本体工事の着手を控え、一般の方々からご意見を頂いている事項について各委員に現場での対応状況を確認して頂き、更なる安全・環境保全の取組に向けて助言を頂いた。

工事現場では、部子川の転流や県道の迂回状況を確認頂き、河川や道路環境を保全するため、濁水処理プラント、沈砂池、タイヤ洗浄機の設置状況や現道でのダンプトラックによる運搬状況を視察して頂いた。

今回の視察で頂いた助言を踏まえ事業進捗を図る。



委員会開催状況



迂回路の状況確認



転流状況の確認

令和2年
12月発行
第27号

足羽川ダム NewsLetter
ニュースレター

安全で安心できる
くらしの実現



本体建設工事起工式を 挙行了しました

11月15日(日)、
福井県今立郡池田町小畑地先において
起工式が開催され、工事の安全を願い
献入れ式を行いました。

足羽川ダム完成予想図



くす玉開披・献入れの様子

当日は約150名の関係者や地元の方々にご出席頂きました。検温・消毒・発言者毎のマイク交換など、参加者にご協力頂きながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めました。この起工式は足羽川ダム事業にとり重要な一歩。令和8年度の完成を目指し、これからダム本体工事が本格始動となります。

式 程

国土交通省
水管理・国土保全局長
井上 智夫

足羽川ダム事業は、これまで付替道路工事や水海川導水トンネル工事を進めてきていたところであり、これに加えて、ダム本体建設工事の着工により、さらに本格的に工事を進めていくこととなります。一日も早い完成を目指して、皆様のご期待に応えられるように、安全に留意しながらしっかりと取り組んで参ります。

下流からのメッセージ

福井県立羽水高等学校 一年
須方 海咲さん
平成27年度「わが家の防災コンテスト」最優秀賞受賞者

足羽川ダムの建設を行うことが出来た背景を忘れてはいけません。それは、建設地域となる池田町は水没してしまう地域があり、その地域の住民の方々が生きていく場所から移転することで、ダムの建設を行うことが出来たということです。自然のめぐみがある池田町で、何十年と大切な仲間や家族とかけがえのない時間を過ごしてきた中で、移転された方々の覚悟や思いを忘れず、これからは災害に備えながら、下流を守ってくれる足羽川ダムの完成を心待ちにしています。

起工式の概要

日時 令和2年11月15日(日) 10:30~11:40

場所 福井県今立郡池田町小畑地先(付替道路脇) 起工式会場

主催 国土交通省近畿地方整備局

参加者 約150名

いまだけ
足羽川ダム本体建設工事起工記念

足羽川ダム 現場見学会を開催

池田町民
限定

10月25日(日)、建設地である池田町の方を対象に部子川転流前のトンネルの中を歩く「光の回廊ウォーク」と付替道路の橋梁を歩く「天空の道ウォーク」を開催しました。もう入ることができないトンネルや、標高約280mの橋梁から見下ろすダム現場を楽しんで頂きました。

光の回廊ウォーク

工事の間だけ川の水を迂回させる仮排水トンネルの中をスマートフォンで撮影しました。このトンネルには現在部子川が流れ、もう歩くことはできません。



当日の様子

1 工事の全体と見守トンネルについて解説

2 ダムの中心となるダム軸ラインを通過

3 建設で移転された集落の旨の風景を紹介

4 空間に記念のメッセージを、様々な応援メッセージを頂きました

天空の道ウォーク

建設中の付替道路の上に、「足羽川ダム」の人文字で記念写真を撮りました。ドローンに向かいみんなで手を振りました。



当日の様子

1 ダムの上流側へ移動。目の前に見えるダムの大きな機械部を教えてもらいました

2 この道路の下に洪水時に水が貯まります。みんなで、ダム現場を見下ろしました

ドローン撮影の橋上からの様子

迂回路供用のお知らせ(松ヶ谷宝蔵寺大野線)

ダム建設工事のため、11月4日より陸双ヶ滝や大野市へ至る県道が一部迂回路になりました。走行にはご注意ください。

詳しくは池田町のHPへ
<https://www.town.asuagawa.fukui.jp/korochi/daboku/1610/p0020254.html>

足羽川ダムのロゴマークが決定しました!

池田町のデザイナーが考案! マークに込められた想いは? 次号でご紹介します。



詳しく足羽川ダムの事業進捗を知りたい方はここまで!

足羽川ダム事業進捗

channel Asuwagawa

足羽川ダム工事現場の動画がご覧いただけます!

足羽川ダム YouTube

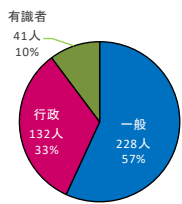
(共同発行元) 国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
福井県土木部河川課 ダム建設管理・足羽川ダム対策グループ

【お問い合わせ先】 〒918-8239 福井市成和1-2111 ポラリスビル TEL (0776) 27-0642(代) FAX (0776) 27-0643
<https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/> (足羽川ダム計画は、ホームページでもご紹介しています。)

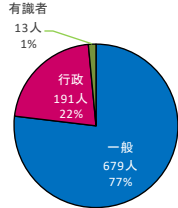
足羽川ダム建設現場来場者 とりまとめ (平成30年度~令和2年度)

来場者

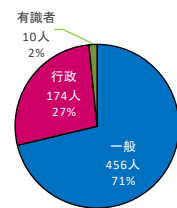
平成30年度 全体 (合計401人)



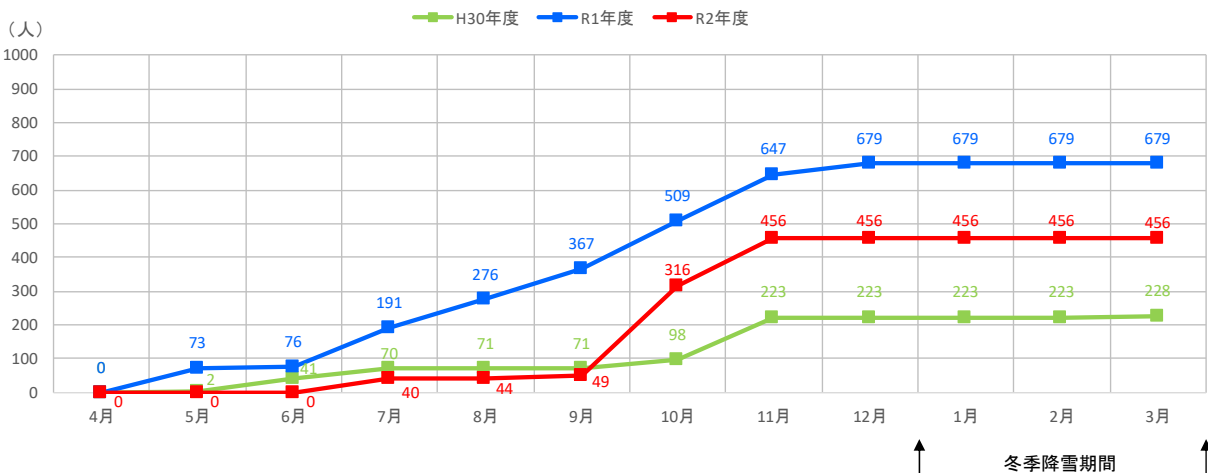
令和元年度 全体 (合計883人)



令和2年度 全体 (合計662人)



平成30年度~令和2年度 現場見学会来場者(一般)





ホームページから QRコードから アクセスしよう。

あなたの知らない工事現場へ

YouTube が案内します。



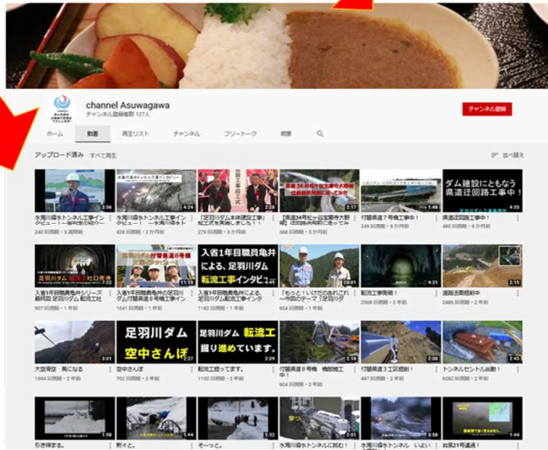
あなたのアクセスをお待ちしています。

You Tube

スマートフォン用 QRコード



Channel Asuwagawa



以下、余白

足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について

● 池田町地域振興策（池田町定住促進対策）【26年10月17日決定内容】

足羽川ダム建設による影響、急速に進む少子化や人口の流出など、池田町の人口減少に係る諸課題に対し、定住促進対策を主とする地域振興策を下記のとおり実施するものとする。

【人の誘致と定住の促進】

- ①就農移住者への支援
- ②若者起業者への支援
- ③町外若者獲得住宅の整備
- ④移住希望者への住宅提供・空き家物件情報の発信
- ⑤町内新築希望者への支援

【結婚定住の促進】

- ①多世帯住宅改修への支援
- ②結婚定住者への支援

【町内での子育て支援】

- ①育児・子育て世帯への支援
- ②町外高校進学者への通学の支援
- ③人づくり産業への支援

【観光の振興】

- ① 県内外の家族層を対象に、里山体験型テーマパークとして「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」（ジップライン・アドベンチャーボート等）を整備
- ②池田町の自然環境や伝統文化に親しむツアーを実施

【産業の振興】

- ①町内6次産業商品の販路拡大
- ②百匠一品運動（6次産業化）の拡充（商品開発補助）
- ③安全安心な有機農業商品としてPRを強化し、町産品をブランド化

【水源地域の振興】

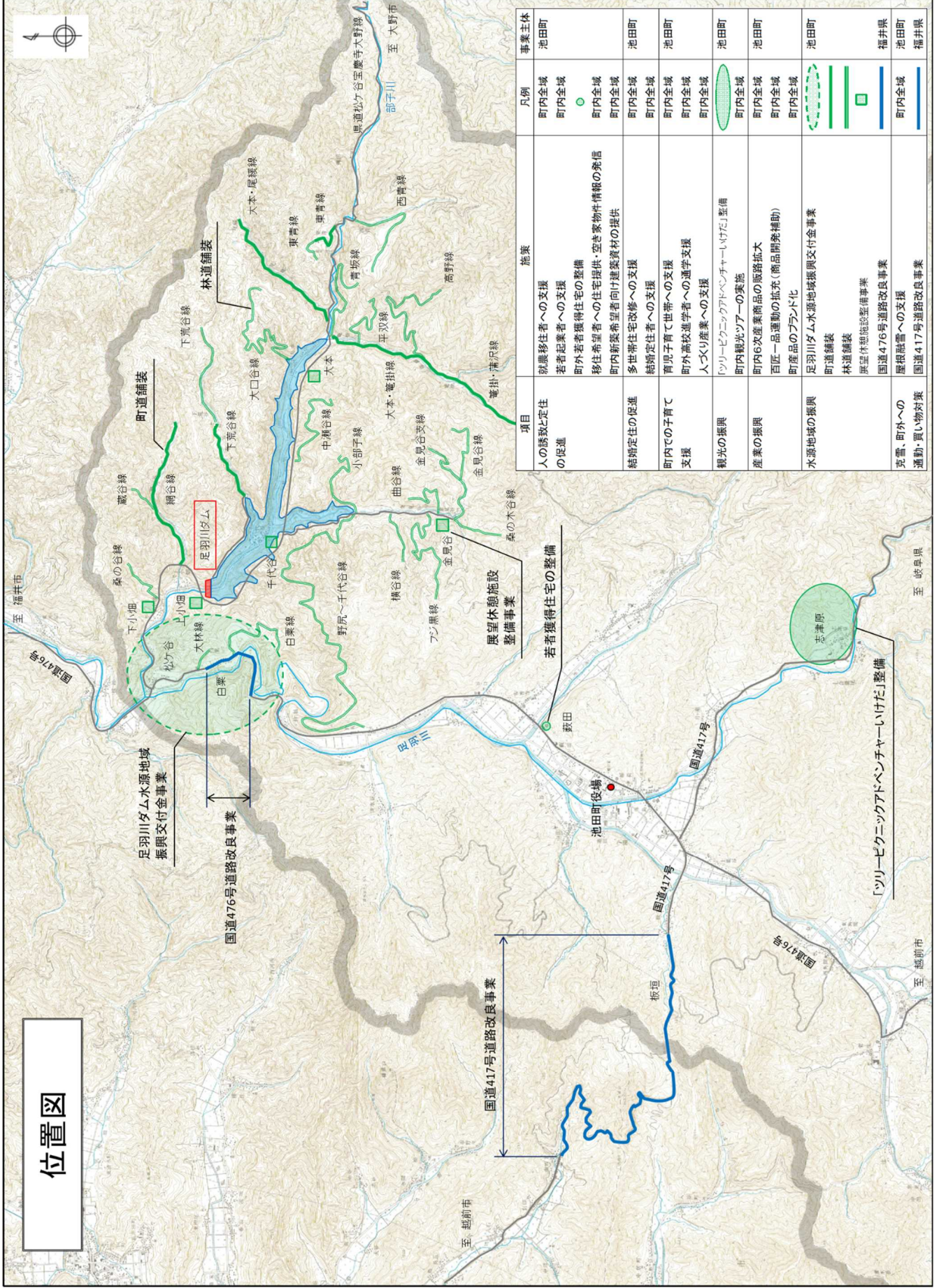
- ①足羽川ダム水源地域振興交付金事業
- ②町道・林道舗装、展望休憩施設整備事業
- ③国道476号道路改良事業

【克雪および町外への通勤・買い物対策】

- ①克雪対策事業（屋根融雪）への支援
- ②安全・安心な道路確保（国道417号道路改良事業）

※ここに掲げる事業については、必要に応じ、国土交通省、福井県および池田町が協議のうえ見直しするものとする。

位置図



項目	施策	凡例	事業主体
人の誘致と定住の促進	就農移住者への支援	町内全域	池田町
	若者起業者への支援	町内全域	
結婚定住者の支援	町外若者獲得住宅の整備	町内全域	池田町
	移住希望者への住宅提供、空き家物件情報の発信	町内全域	
	町内新築希望者向け建築資材の提供	町内全域	
	多世帯住宅改修への支援	町内全域	
町内での子育て支援	結婚定住者への支援	町内全域	池田町
	育児子育て世帯への支援	町内全域	
観光の振興	町外高校進学への通学支援	町内全域	池田町
	人づくり産業への支援	町内全域	
産業の振興	「ツリービクニックアドベンチャーいけだ」整備	町内全域	池田町
	町内観光ツアーの実施	町内全域	
	町内6次産業商品の販路拡大	町内全域	
水源地域の振興	百匠一品運動の拡充(商品開発補助)	町内全域	池田町
	町産品のブランド化	町内全域	
克雪、町外への通勤・買い物対策	足羽川ダム水源地域振興交付金事業	町内全域	福井県
	町道舗装	町内全域	
	林道舗装	町内全域	
	展望休憩施設整備事業	町内全域	
若者獲得住宅の整備	国道476号道路改良事業	町内全域	池田町
	屋根融雪への支援	町内全域	
若者獲得住宅の整備	国道417号道路改良事業	町内全域	福井県
	屋根融雪への支援	町内全域	